

犠牲者に謝罪と賠償を求めて、1974年以来、毎年国会請願署名活動を続けています。憲法第16条で保障されている請願権行使して、今年も5月17日に国会請願を行い、集めた署名の提出に奈良県からも代表团を派遣します。

1925年に治安維持法が制定され、同法が廃止されるまでの20年間

治安維持法国賠同盟は治安維持法による獄死者は400人以上にのぼっています。

に数十万人が逮捕され、7万5千人以上の人が送検され、虐殺や拷問、虐待

に対する罪にあたるものです。人道に対する罪は戦時中においても確立していいた国際法に違反しており、この国際法は、各國の国内法に優越した効力を有するもので、國に謝罪と賠償の責任が生じるものである。

奈良県関係者は数百名、氏名で特定できるのは155人（国賠同盟奈良県本部調べ）にのぼります。西田信治など3名が虐殺されています。

治安維持法は検挙の乱用、拷問の禁止、不当な長期拘束は当時の刑法にも違反しております。政治的弾圧で、人道に

5月17日の国会請願にむけての 国賠署名推進活動を



奈良県版

No. 362

2023年3月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒631-0033
奈良市あやめ池南1-9-27
加藤宣之気付
☎ 0742-43-0762
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

次期総会をめざし、

会員100名の拡大運動に

取り組もう

昨年8月21日に開催された第34回治安維持法国賠同盟奈良県本部総会で次期総会までに会員500名の同盟建設の方針が提起され、半年が経過しました。

この間、県同盟は総会直後の9月から10月の約1ヶ月間に奈良市、大和郡山市、大和高田市、生駒市の4会場で映画「わが青春尽きるとも—伊藤千代子の生涯」の上映運動に取り組み、会員数の倍以上の865名の鑑賞者を得、大成功をおさめました。

この取り組みの中で同盟と一緒に上映運動に携わった4会場の実行委員のみなさんをはじめ、つながりある多くの人々に国賠同盟への入会の働きかけを強め、あと100名の会員拡大目標を必ず達成しましょう。

大和高田市会場地域の実行委員会から

今月に1名の入会をはじめ、あわせて3名の方が入会して頂きました。各

支部、行政区単位で会員拡大運動に取り

組めるように県本部と一体になつて拡大対象者の掘り起こと拡大行動日の設定を具体化し、会員拡大運動を推進しましよう。

国賠同盟奈良県本部会長 加藤宣之

貧窮にあえいでいた労働者や身売りされ、春をひさぐ境遇に沈まねばならなかつた女性たちの姿を生なましく小説で描いた。

文学だけでなく、バイオリンを弾き、音楽なども愛した心優しき青年だった。銀行員になるも文筆活動を旺盛に進め、小説を書くために机にしがみついているのではなく、「誰か体を張つて書く奴はないかなあ」とつぶやきつつ、そのことばを自らに課して、革命運動に身を投じたことだった。

口で勇ましいことを主張する者は多くいた。だが多喜二は「ちよんびりも」

自分の時間がないほど運動に身を捧げていくのである。その地下活動の最中、母親と会う時、「雨の日は」助かるといふ。なぜなら彼には右肩を吊り上げるようにして歩くくせがあつて、特高などに

小林多喜二は29歳で命を絶たれた。
1933年2月20日のことだつた。没後90年になる。國家が奨励した虐殺で葬られた。

日本民主主義文学同盟幹事

草薙秀一

2

いう訳である。また、安定した給料のよい銀行員の職を投げうつてその日の食事にもありつけないこともあったという。そんな状況の中でも、多喜二はまさに「体を張つて」『蟹工船』をはじめ多くの時代を鋭く撃つ作品を発表し続けてきた。

富国強兵に狂奔し、他国にまで軍靴を進める日本軍国主義に真っ向から文筆で立ち向かったが故に国家権力の憎悪を買い、ロープで吊るされ、全身をめつた打ちにされ、大腿に置針を刺しこまれるなどの拷問で赤黒い死体になつて還されて來た。多喜二はまさに全身で暗黒の時代にぶつかつていったのだ。その結果が先の作品であり、党の鬨いだけではなく、『安子』などの女性の境遇に目を向けた作品をも生み出した。今、「大軍拡」が押し進められようとする中で、多喜二に続く文学作品の創造が求められている。



小林多喜二 馬橋の家にて
この頃、小樽から母を迎えて、弟と3人で生活を始めた



戦旗社 1930年5月刊

天皇制権力の本質を暴き、特高警察の残虐な実態を伝え、プロレタリア作家小林多喜二としての事実上の第一作となった。

治安維持法犠牲者・長谷川テルの顕彰事業は、国賠同盟奈良県本部第31回大会(2017年5月)で決定し、事業推進の共同を呼びかけ、推進してきた重要な課題です。国賠同盟は長谷川テルの顕彰事業の提唱団体として「長谷川テル訪問記念の碑」建立募金活動でも重要な役割を果たしてきました。

ここに「奈良・長谷川テル顕彰の会」の「碑」除幕式への「ご案内」を紹介し、県同盟の皆さんに、「碑」除幕式に参加されることを呼びかけます。

国賠同盟奈良県本部

ご案内

「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式に是非ご参加を

2017年5月26日、「奈良・長谷川テル顕彰の会」が結成され、「長谷川テル顕彰碑建立を志してから6年、全国の長谷川テルに想いを寄せていただいている多くの方の協力と般若寺さんのご好意で、いよいよ碑が完成し、4月30日(日)に「碑」の除幕式を挙行することになりました。

この日、午後1時から、第一部の除幕式を般若寺境内で挙行、その後、会場を移し、第二部・「長谷川テル顕彰事業全国交流集会」を行います。また、集会終了後、懇親会を行います。

記念碑建立にご協力していただいた全ての皆さんに案内状をお届けいたします。是非ご参加いただくようご案内申し上げます。

記

第一部 除幕式

4月30日(日) 午後1時～2時 般若寺境内で。

第二部 「長谷川テル顕彰事業全国交流集会」

午後3時半～5時 ホテル リガーレ春日野

第二部終了後、懇親会を行います。会費 5,000円

※「第二部」参加及び懇親会参加希望者は事前に県本部事務局に連絡下さい。

(注)般若寺境内で行われる第一部の除幕式に出席される方には

入山の際に、「拝観料」(500円)のお支払いをお願いいたします。

2023年3月12日

奈良・長谷川テル顕彰の会

会長 宮城 恭子
事務局長 田辺 実



記念碑建立の工事の様子



日本での和服姿の長谷川テルさん。

夫と共に中国へ渡ってからは、

現地の生活にすっかり溶け込み、和服を着ることは一度もなかったという。

(「人民中国」HPより 写真提供・長谷川暁子さん)

季節の 言の葉

三・一五の年に産まれし我

「治維法國賠同盟」の驥尾に付き来し

あの暗黒の時代からの歩みは
出口の見えぬ隧道や茨^{しきよく}棘^くの道を
ひたすらに進んでいったのであろうかと。
そのひたむきな蒼蠅^{そうよう}に私もなりたいと願う

お願い

5月17日の国会請願にむけて、署名活動に一層のご協力をお願いします。
郵送用の封筒を同封します。申し訳ありませんが、切手は各自でご負担のご協力をよろしくお願い致します。4月30日〆切りです。 事務局

・倍増と言つてみたけど内容なし
・森さんよ火付強盗のロシアだよ
・ロシア寄り利権がらみか森さんの
・憲法を知つてか知らずか
・値上げなしよく見りや中身が
・無視をする
・アメリカの手玉に取られ大軍拡
・川柳
　　大和郡山支部 杉本 英雄
　　ミニサイズ

署名数・会員数の到達(2月28日現在)	
団体署名	二十二筆(前月比二増)
個人署名	五〇〇筆(前月比八〇増)
会員数	四〇〇名(前月比二名減)

編集後記

『2月20日小林多喜二の雪が降る、

これは、私の恩師、鈴木茂の句です。最後まで絶対的天皇制に、特高警察の暴力に屈することなく闘い抜いた多喜二の亡がらに雪は降り注いだのでしょうか。

多喜二の顔に頬ずりしながら「それ、もう一度立たねか。みんなのためにもう一度立たねか」と叫んだ、母セキさんの背中にも雪は降り続けたのでしょうか。

私は、その雪はきっとほの温かくてやさしかったのではないかと想うのです。サクッサクッと雪の道を踏みしめながら多喜二は未来に向かって旅立つていったのではないかと。

あれから90年がたちました。今年も1928年3月15日の日がきました。今なおこの国は、民衆の心を、日々の暮らしを踏みつけ、軍備拡大へと大きくカジをきろうとしています。本当に危険なことです。今こそ、軍備…力ではなく、法の下での平和を守っていくことです。国連憲章、国際人道法、核兵器禁止条約など、人類は少しずつ平和を維持する努力を重ねています。力ではなく、法の下で、外交の努力で平和を。

実は冒頭の句には、いつも添えられている一句があります。

『雪溶かす陽ざしのような言葉かな、

E・I